

献呈のことば

スポーツマンでいつも若々しかった渡邊満先生も、平成一九年三月末日をもって定年退職を迎えられました。

渡邊先生は、平成七年四月、法学部が東広島キャンパスに移転すると同時に広島大学に着任されました。まさに、西条移転後の学部・研究科とともに歩んでこられた十二年間であったといえます。この間、渡邊先生は、教育と研究の両面で多くの業績をあげられました。

教育面では社会政策・社会保障論を担当し、アジアからの留学生も含め多くの人材を世に送り出してこられました。研究面においては、イギリスの国民健康保険制度研究の第一人者として、特に医療制度改革・医療保障の分野で幅広い研究を展開されました。

また、平成十六年四月からは大学院社会科学研究所法政システム専攻政策動態講座主任として大学院重点化ならびに大学法人化直後の激動期に、学部・大学院の管理運営に積極的に参画され、また地方自治体の審議会委員等を歴任されるなど、地域社会の発展にも大きく貢献されました。

永年にわたる先生のご功績に感謝して、ここに先生のご退職を記念する本号を献呈する次第です。最後に、先生のご健康と今後の益々のご発展を祈念いたします。

平成一九年八月吉日

広島大学法学会会長 西村 裕 三